

作品タイトル『森に住む』



有限会社 長谷部創建です。 よろしくお願ひします。

「木々に囲まれ空気の美味しい家に住みたい」

をメインテーマに掲げ、設計 施工をさせて頂いた住宅になります。

1階に寝室を設け、2階にリビングダイニングキッチン・浴室を配置しプライバシーを守りながら、明るい開放的な空間を実現しました。

おもな構造材は、土台にヒバ 柱にひのき 梁にまつを使用して 住宅の大事な骨組みができています。仕上げ材としては 床に針葉樹の唐松材 杉材 コルクフロア、壁 天井に杉材 薩摩中霧島塗りをおもに使用しています。

木には広葉樹と針葉樹がありますが、広葉樹は比重が大きく強度的には優れていますが、冬触った時に硬く冷たく感じます。一方針葉樹は比重が小さいものが多く強度的にはおとりますが、冬触った時に暖かく感じます。

今回リビングの床には、圧縮加工して表面強化された床暖房対応の、針葉樹杉材を使用しています。

木は人間と同じように個性があります。木の個性を知り適材適所、ライフワークに合わせて上手に木を選ぶと、お気に入りの家族だんらん空間に仕上がるとおもいます。



仕上げ工法として、柱や梁をあえて見せる真壁工法を取り入れ、木々の美しさや、暖かさを肌で感じられる温もりのある空間を作り出しています。

私が真壁工法にこだわる理由がもう一つあります。それは木の性格やくせ、使い方を知っている大工職人さんだからこそ造り上げる事のできる工法だからです。古い考え方かもしれませんが、職人が腕を揮うとは、習得した高い技術を持って満足した作品を作り出す事だと思ひます。私自身、設計デザインの仕事だけでなく、朝から大工職人として建築現場に出て日々技術を学んでおひます。



健康快適に生活をするには仕上げ材にこだわるだけでは不十分です。完成後、見えなくなる所ほど大切な工事になります。

弊社では、高断熱、高耐震にもこだわります。空気より熱伝導率が低い断熱材ネオマフォームで、基礎 壁 屋根を外張り断熱し、さらにアルミシートで夏の暑い輻射熱を跳ね返します。

外張り断熱は、柱 梁をすっぽり断熱材で包むため、構造躯体部分での温度差が小さく、躯体内結露も起きにくくなります。木材が直接空気にふれることで、木材の呼吸が促進され、耐久性の向上につながります。

地球環境にも優しい次世代少エネルギー住宅を推進しています。そして筋交いと耐力面材をへいようして、品格法

による耐震等級 3 の構造計算をして、健康快適な生活をサポートします。



木は何十年も春夏秋冬を年輪で感じて成長します。人間の成長に似ていませんか？

何十年もかけて成長した木で、木の家を造り、木と一緒に家族だんらんできるなんて何だかロマンチックな気がしますね！

私は、木が好きです。これからも地球に優しい、家族に優しい木の家を造り続けて行きたいと思っています。